

## 令和4年度 第9回 藤沢市市民活動推進委員会 議事録

### 1 日時

2022年（令和4年）12月10日（土）午後0時58分 ～ 午後2時18分

### 2 場所

藤沢市役所本庁舎5階5-1会議室

### 3 出席者

(1) 委員 8人

山岡委員長、坂井副委員長、細沼委員、西上委員、山崎委員、関野委員、  
入内島委員、大場委員

(2) プレゼンテーション参加団体 1事業（2団体）

- ・みんなの居場所・れいんぼ〜かふえ by レインボースマイル湘南
- ・藤沢市子育て企画課

(3) 市側 5人

平井部長、森主幹、一瀬上級主査、緒方専任主査、川島主任

(4) 協働コーディネーター 手塚氏、堀氏

### 4 議題

令和4年度ミライカナエル活動サポート事業（協働コース）ヒアリング審査（三次審査）

(1) ヒアリング（事業説明・質疑応答）（公開）

(2) 審査選考（非公開）

### 5 開催概要

#### 開会

#### 藤沢市市民活動推進委員会

○事務局の平井部長より冒頭に挨拶が行われた。

（山岡委員長）ただいまから令和4年度第9回藤沢市市民活動推進委員会を開会いたします

す。初めに、委員会の成立要件について事務局よりお願いします。

○事務局より成立要件について説明が行われた。

(山岡委員長) それでは、本日は協働コースのヒアリング審査（三次審査）となりますので、この後の進行につきましては、細沼部会長にお願いいたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

### 協働コース審査選考部会

(細沼部会長) それでは、協働コース審査選考部会を開会いたします。

本日、審査にあたる委員をご紹介します。順番に自己紹介をお願いします。

○各委員より自己紹介が行われた。

(細沼部会長) 本日、大場委員がオブザーバーとしてご出席されています。よろしくお願  
いいたします。

続いて、事務局より資料確認及び本日の日程等について説明をお願いいたします。

○事務局より、資料確認及び日程等について、説明が行われた。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

#### (1) ヒアリング（事業説明・質疑応答）

##### ①みんなの居場所・れいんぼ〜かふえ by レインボースマイル湘南／藤沢市子育て企画課

(細沼部会長) それでは、ヒアリングに移ってまいりたいと思います。

「みんなの居場所・れいんぼ〜かふえ by レインボースマイル湘南」、藤沢市子育て企画課の皆さん、子どもの居場所スタートアップサポート事業について発表をお願いいたします。

(みんなの居場所・れいんぼ〜かふえ by レインボースマイル湘南) ご紹介いただきました「みんなの居場所・れいんぼ〜かふえ by レインボースマイル湘南」の鈴木と申します。

(藤沢市子育て企画課) 藤沢市役所子育て企画課の高田と申します。

(藤沢市子育て企画課) 藤沢市役所子育て企画課の中野と申します。

(みんなの居場所・れいんぼ〜かふえ by レインボースマイル湘南) 本日は、事業計画及び収支予算の変更点について、本制度事業期間終了後の事業計画について、審査委員の皆様からの質問、ご意見等についての3点について述べさせていただきます。

まず、1点目の事業計画及び収支予算の変更点についてです。

大きな変更はないんですけれども、事業計画につきましては、初年度の第1クールを4月募集開始、5月スタートとしていたところを、「広報ふじさわ」の5月10日ごろの掲載を目指しておりますので、5月募集開始、6月スタートと、現実的なスケジュールに変更させていただきました。

また、収支予算については予算の額としては変更しておりませんが、チラシ配布先の学校等を減らしまして、社会福祉協議会や青少年育成協力会、各市民センターの配架などに変更する予定です。

続きまして、本件の事業期間終了後の事業計画について申し上げます。

まず、ワークショップやプラットフォームの運営については、新しくつながったメンバーからもスタッフを募り、発展しながら継続していく予定です。予算についてはまずこの2年で、ホームページ制作やテキストの制作など大きな予算を必要とするもののベースができると考えておりますので、3年目からは予算をかけずに運営できると考えております。ワークショップも外部講師を呼ぶのではなく、メンバー同士で話題提供ができるようになると予想しております。

市内の子ども居場所マップの作成などについては、3年目以降も引き続き子育て企画課さんと連携しながら、市内小学校区に満遍なく子どもの居場所がある状態を目指したいと思っております。

続きまして、審査委員の皆様からの質問、ご意見等についてお答えいたします。

まずは、おおむね全体的に好意的だったり、応援のメッセージをいただいたこととてもありがたく思っております。

(藤沢市子育て企画課) 私のほうからは、ご意見として事業の周知をしっかりとしたほうがいいよねというご指摘をいただきまして、また、場所の確保についていろいろ難しさがあるというご指摘もいただきましたので、その点について若干ご説明させていただきたいと思っております。

まず、事業募集につきましては「広報ふじさわ」、ホームページは当然のことだと思います。また、市のほうで近年、LINEを使った周知もできるようになっております。

さまざま市のほうで持っているリソースを使って、できるだけ多くの方にこの事業の周知を図ってまいりたいと考えております。行政でできることはそういうことで、またレインボースマイルさんのほうではもっと民ベースといいますか、SNS を日常に使うということですか、地域のミニコミ誌などへの情報提供など、協力してできるだけ広く事業周知を図ってまいりたいと思っております。

場所の確保について難しさがあるのは、ご指摘のとおりだというふうに受け止めております。一義的には、前回お話しさせていただきましたとおり、ワークショップの中で、自分たちで確保するにはどうしたらいいのかというところは押さえていただきながら、当然行政として協力できるところもございますので、そこは個別のケースになってくるかと思えます。その状況に応じながら、可能な限り支援してまいりたいと考えております。

(みんなの居場所・れいんぼ〜かふえ by レインボースマイル湘南) 続きまして、参加される方と、こちらの運営側で対等な会話ができるといいですよというご指摘をいただいておりますので、こちらのアドバイスについても同じように考えております。日ごろ私たちが運営している子どもの居場所、子ども食堂ですとか、子どもの遊び場につきましても、スタッフといらっしゃる方の境目がないように、対等な関係を大人も子どもも築けるようなことを意識しております。今回のワークショップでも、参加者の皆さんがフラットに話せるような場というのを意識してつくっていきたいと思っております。そして、その方たちが持っている夢を大いに語っていただいて、それを実現できるようなサポートができたかと考えております。

詳細な見積もりについてもアドバイスいただいております。本来でしたら、ホームページのデザイナーさんから、どういうところまでやってもらえるのか調べるといいですよ、お話ししておくといいですよというアドバイスをいただきましたので、ご意見を参考に、デザイナーさんたちとは月一でミーティングしながら、進捗を確認することといたしました。こちらの要望や先方からの質問は、メールなどで随時いただくようにして、ホームページ掲示とともに、1クール終わるまでにはある程度形づくり、1年目の終了までにはリリースできるような形を目指しております。

以上、参加者や市、弊団体はもちろん、子どもたち、市民の皆さんにとっても安心できる場を増やせる機会といたします。引き続き応援をどうぞよろしく願いいたします。(細沼部会長) ありがとうございます。発表は終わりました。

委員の方、ご質問はありますでしょうか。

(坂井副委員長) 最初にご提案をいただいたときに、子どもたちの自己肯定感の低さというところを問題意識にされて、そのためにいろいろと自己肯定感が高まるような場が必要であるというご提案だったかなと思うんですね。

今回、事業の目的としては居場所をつくるということと、その結果、市民の家の活用を進めるということを挙げていただけていますが、真の狙いとしては、そういう自己肯定感の高い元気な子どもたちをたくさん増やしていくというところなんだろうなというふうに、私としては理解しているんですけども、子どもの居場所ができることはいいんですが、ただ単なる居場所さえできればいいということではないんだろうなと思っているので、その居場所とはどんなものを目指しているのかというところをもう一度お伺いしたいと思います。

(みんなの居場所・れいんぼ〜かふえ by レインボースマイル湘南) おっしゃるとおり、ただ場ができるだけでは意味がないので、運営側が自己満足だけの場になると、子どもの自己肯定感を逆に潰してしまうような関わりをしてしまうおそれがあるなというふうに思っております。参加された方には、子どもの力を伸ばしたりとか、子どもたちが、自分は生きていいんだということを感じられる関わりができるような傾聴の仕方ですとか、声のかけ方ですとかをお伝えするワークショップにしたいなと考えております。

また、1回目のワークショップで、参加の方に夢を大いに語っていただきたいと思っているんですけども、大人が夢をかなえる姿を見せるといいですか、そのこと自体が子どもにとって、大人になるのも楽しそうだなとか、きらきらしたといいですか、生き生きしている大人の近くにいることで、子どもたちの自己肯定感も引き上げられる。そういったよい循環が生まれるのではないかと思っております。

(坂井副委員長) 念のためにお伺いするんですが、ワークショップに参加された皆さんが、居場所の運営スタッフに世話になっていく。その人たちが、自己肯定感を高めるために子どもたちにどう接するのか。そここのところも一つの狙いとして、今回ワークショップをやっていくという理解でよろしいのでしょうか。

(みんなの居場所・れいんぼ〜かふえ by レインボースマイル湘南) 1回目のときに子育て企画課さんから、子ども共育計画についてお話をいただくんですけども、そこでも市の指標として子どもの自己肯定感を上げたいということと、そのきっかけにもなる子どもの居場所を増やしたいというお話をさせていただけることになっておりますので、た

だ場をつくるだけでなく、子どもの自己肯定感を引き上げることができるような場づくりが目指すところですよということは共通の認識とした上で、このワークショップを進めたいと思っております。

(西上委員) 自己肯定感と何回も書いてあるんですが、それをちゃんと勉強していますか。学問的にはどういう段階で自己肯定感が育まれていくのかとか。

(みんなの居場所・れいんぼ〜かふえ by レインボースマイル湘南) 最近よく使われている言葉として、「自己肯定感」というのを載せているんですけども、自己何々はいろいろあると思うんですが、私は一番根っこにある自尊心ということが大切だと思っています。その自尊心というのは、何かをしたから私は価値があるとかではなく、何もしなくても、ただそこにいるだけで価値があるということを実感できる。まず大人のほうでも、何かができるから、あなたいい子ねという形ではなくて、そこにいるだけですばらしいんだよ、君にはこんな力があるね、そういう力を見つけて引き出せるような、子どもたち自身が活躍できるような場づくりができる運営者をつくりたいと考えております。

それについては何か学校などで学んだということではないんですが、これまで私は小中学校のいじめ防止プログラムなどのファシリテーターをしておりまして、そういった中で、とにかく自尊心を持っているということが、命をつないでいくことにとても大切だということを研修などで学んでいるといった形になります。

(西上委員) どうやって自己肯定感が育まれていくのかということスタッフの皆さんできちんと共有したほうがいいと思うんですね。それにぴったりの本だったり、論文はたくさんあるので、皆さんが、どの考えに自分たちのやろうとしていることは近いかということを決めてもらう。

あと、存在そのものが尊いのですよ、あなたはそのままで価値がありますよということを最初に伝えるところがスタートになると思うんですが、その上で居場所と呼ばれるコミュニティに所属できてないケースが多いと思うので、家庭以外のコミュニティに所属しているということが居場所だと思うんですね。家庭以外のコミュニティにどのように所属するのかというところを今、皆さんがやろうと思っているんだと思うんです。

存在そのものを肯定することの次は、どういったコミュニティに所属したいのか、所属できるのか。あるいは、所属したとして、その次はそこで自分の役割が見つかったりとか、自分が得意なこととか好きなことを披露しても、傷つけられたりしない。その3段階がすごく重要なんですね。そこまでをこれでやろうとしているんですが、読んでい

くと、書いている箇所によってそれが前後していたり、ちょっとばらつきがあるように見えるんです。

あと、副読本に挙げていただいているのは、習慣を変えるというところに着目しているから、存在そのものを肯定するということと、変えるというのはその大分先の話のところになってきてしまうので、どういう段階を踏んで副読本に示しているところに行くのか、もうちょっと整理したほうがいいんじゃないかなと思って聞いてみました。

コミュニティに所属して誰かの役に立っていると感じて、さらに何かやろうという挑戦があって、挑戦の先に変わるというところがあるんですよ。3段ぐらい飛ばした副読本を今挙げてもらっているので、その段階を少しそらえたほうが、スタッフのクオリティーが人によって左右されないということになるんじゃないかなと思って聞いていました。

(みんなの居場所・れいんぼ〜かふえ by レインボースマイル湘南) 今回、この副読本は主体的であるということがすごく大事だと思ったので、7つの習慣を持ってこようかなと思っています。ワークの3クールの中に、私たちが運営している夏祭りに来てもらうというところがあるんですけども、その夏祭りというのは、私たちの居場所に来てくれている子どもたちが、実際に自分たちで運営する場でもあるんですね。自分たちで運営して、子どもたちがやり方を工夫して、お客さんに接客をする。それで、できたということを感じてもらうことが、その後も自己肯定感が上がったとかということにつながると思っているんですけども、それを実際に見ていただくことで、口頭で言っている話だけではなく、実際の生の子どもの姿を見てもらいたいかなと思っています。

また、3年目以降のことなんですけれども、2年間、半年の1クールで全てを伝え切ることはなかなか難しいので、その後もつながったメンバーたちで研修会のようなものを行って、今、子どもたちが実際にある現状ですとか社会課題ですとか、あとはこういうケースがあったという話ですとか、そういったことを後追いにはなってしまおうんですが、常に私たち自身がブラッシュアップしていけるようなコミュニティをつくれたらと思っています。

(関野委員) 前回、私は病気で休んでしまっていて、今これを言われるのかということになるかもしれないんですけども、お見積もりをかなり細かくとっていただいているようで、今、東京都の非営利団体で SNS の炎上案件もあるぐらいなので、ここら辺は結構きっちりしているんですが、その中でロリポップサーバーと WordPress が両方予算

に入れられているんですが、WordPress のビジネスプランって、WordPress さんが持っているサイトの中に開設するための費用なんですね。ロリポップサーバー自体と契約したときに、その中に WordPress のシステムをダウンロードできるという仕組みなので、これは実は片方でいい額になってしまう。

あわせて、チラシ代と内訳ですね。これは全部の制作枚数に対して予備がかなりきつきつにつくっていて、配布先を念頭に置いているのが小学校、中学校、白浜養護、青少年指導員と、かなり教育関係に限定しているんですが、限定する意図、理由がございませうでしょうかという 2 点です。

(みんなの居場所・れいんぼ〜かふえ by レインボースマイル湘南) サーバーのところは私の勉強不足かもしれないので、再度確認したいと思います。ただ、専用のメールアドレスなどをつくるのもいいなと思っていたので、サーバーについてはそういった活用方法もあるかなとは考えています。

チラシの配布先につきましては、当初、子育て中の世代の方がそういう居場所を求めている、その中に居場所を開こうかなという人もいるかなということで、小中学校の生徒さんに配布できたらと思っていたんですけども、前回、市民センターへの配架ですか、社協さんなどにご協力いただいていたというお話をいただきましたので、小中学校への全校配布は、役員をやっている人などにとどまるような、各校 50 部ずつでちょっと絞る形にして、そのかわり各市民センターとかに配布できるように、配布先を変更しようと思っております。

(関野委員) この事業全体が生徒さん対象ではなくて、保護者の方とか、その世代の方ということですね。そうすると教育関係にとどまらず、興味を持ってくれそうな方がいるところに届けていただいたほうが適切かなと思います。もちろん、うちの施設にも置いていただければということになります。

(みんなの居場所・れいんぼ〜かふえ by レインボースマイル湘南) ありがとうございます。ぜひそうしたいと思います。

(山岡委員長) 私も二次審査に来ていなかったのですが、もしかしたら同じような話があったかもしれないんですが、ワークショップの対象は具体的にどういう方を想定されておられますか。例えば全く何もやってない、ゼロからそういう活動を始めて、子どもの居場所をつくりたいんだと思っている親御さんなのか、あるいは既にまちづくりとか市民活動をやっている、子どもたちもこの活動に巻き込んでいきたいという方なのか、いろい

ろ考えられると思うんですけども、具体的にどういう方をこの事業で対象にしていくか。あと、現状において、こういうワークショップがあればぜひ参加したいという声とか、今どれぐらいニーズを把握しておられるかということをお教えください。

(みんなの居場所・れいんぼ〜かふえ by レインボースマイル湘南) まず初めに、こういうワークショップをしたらどうかと思ったきっかけとなったのが、私のところに、こういう居場所をやりたいんだけど、どうやって始めたんですかという問い合わせをいただいた方は何人かいるんですけども、主に小学校のお子さんがある保護者の方だったんですね。お話はたくさんさせていただいたんですが、仲間づくりや資金の問題、場所の問題で実際に実行に至らないというところがありまして、せっかくそういう思いのある方がいるのもったいないなと思っていたので、こういう場に1人で参加しても仲間ができて、3人ぐらいでやろうかという形で始まるといいなと思ってワークショップを企画しました。

対象としましては子育て中の保護者の方ですとか、子育てが一段落して、私なども義務教育が終わった子どもがいて、やっと手がちょっとあいて、時間にもゆとりができて、子育て経験も生かしたいなというところがありますので、同じような世代の方ですとか、おじいちゃん、おばあちゃん世代ですとか、特に限定はしてないんですが、想定としては子どもに今までかかわっていたような20代、30代、40代、上は60代ぐらいまでの方が来るといいなと思っております。

(山岡委員長) 基本的には既に活動されている方ではなく、これから始める方を対象にしているという理解でいいですか。

(みんなの居場所・れいんぼ〜かふえ by レインボースマイル湘南) 基本的にはスタートアップなので、これから始めたいと思っているけど、どうしたらいいんだろう、何からしたらいいんだろうという方に来ていただけたらと思っておりますが、始めたばかりでなかなか思ったようにうまくいかないという方に来ていただいてもいいかなと思っています。個人で参加してもいいし、既にやっている方でしたら、グループで参加していただいてもいいかなと思っています。

(山岡委員長) ニーズに関しては今、何人かの方からお問い合わせをいただいたということですが、その範囲という理解でいいですか。それ以外のニーズ、ぜひやりたいんだという声などは把握されていないでしょうか。

(みんなの居場所・れいんぼ〜かふえ by レインボースマイル湘南) 今回は藤沢市内で開

いてくださる方を対象にとは思っているんですけども、問い合わせ自体は市内外問わずいただいているので、基本的には関心のある方はどなたでも、というようには思っております。

(山岡委員長) 見通しというか感触として、この募集をかけたときに、すぐいっぱいになるのだろうという感じなのか、声をかけて集めなきゃいけないという感じなのか、今のご自身の感覚としてどうですか。

(みんなの居場所・れいんぼ〜かふえ by レインボースマイル湘南) はっきり言って未知数なので、積極的に私自身も広報活動をして参加を募りたいなと思っております。具体的にもう何人ぐらいいますという形ではないです。

(山岡委員長) 協働部署さんに質問なんですけど、今のところは講座の中で共育計画の概要説明を行うということが記載されているんですけど、それ以外の役割は何か考えられていますか。

(藤沢市子育て企画課) ワークショップの中では、今お話をいただいた役割があると思っています。どちらかというとならざる役割として、先ほどお話をさせていただきました事業周知の関係ですとか、実際に居場所を自分たちで立ち上げようという段階になったときに、行政としての協力なり支援なりができるところは出てくるかと思えます。そこは居場所といってもいろんな種類があると思えます。小学生を対象にしたもの、子ども食堂、不登校の子を対象にしたことをやりたい。いろんな居場所があって、そのケースによって支援のやり方は違ってくるかと思えます。当然、我々子育て企画課だけで全てが対応できるとは思いませんので、私どもを通じて市の関係部署につなぐということも大きな役割の一つだというふうに考えています。

(山岡委員長) ワークショップの中身は、れいんぼ〜かふえさんの今までのノウハウでやっていただくということでもいいと思いますし、ぜひそうしていただきたいと思うんですが、その研修の中身についても何か知恵とか情報とか、行政が関わることで充実できることもあると思います。せっかく協働なので、ぜひそこも一緒にやっていただけるといいなと思っております。

(藤沢市子育て企画課) アドバイス、ありがとうございます。ぜひそのようにさせていただきますと思っております。

(入内島委員) 先ほど、全校チラシの配布はなさらないと聞いたんですが、私もこの間お話したとおり、幼稚園に通う子どもがいて、結構ママ友というかコミュニティをつく

って、そこにいつもママ友がいるので情報共有ができるんですが、幼稚園に行ったり、見たりすると、保護者の方でその輪に入れてない人たちが結構いらっしゃるんですね。

そういう情報弱者というか、なかなかそういうのをキャッチアップできない方々は、例えば自治会に入ってなかったりとか、市民センターに行く機会がなかったりすると、なかなか目にする機会もないのかな。本当に必要な人たちは、もしかしたらそういう人たちなのかもしれないかなとちょっと思っています、そういうところにうまく情報を伝える手段を何かお考えか。今なくてもいいんですが、あっていただきたいというのが、話を聞いて思ったところです。

(藤沢市子育て企画課) レインボースマイルさんのほうとお話ししていることですが、おっしゃるとおりで、全ての方に情報を伝えるのは市の行政網では難しい部分があると思っております。そこで市以外のメディアさんを使うことの一つとして、その地域のミニコミ誌に、例えば事業の紹介みたいなことをしていただけないだろうかというお話をしております。

市としてできることとして、取り上げていただけるかどうかはまた別問題なんですけれども、プレスリリースのような方法もあるかと思います。それであまねく周知を図れるのかなというと、パーフェクトではないと思うんですけれども、持っているオプションは全て使ってやっていきたいと思っています。

(みんなの居場所・れいんぼ〜かふえ by レインボースマイル湘南) 今回の2年間で行うワークショップにつきましては、先ほどおっしゃったようなコミュニティを持っていない方が、ワークショップに参加される対象なのか、居場所を利用する人としての対象なのかというところがちょっと難しいかなと思ったんですけれども、今回はこの2年間でなるべくたくさんの人に情報を届けたいと思っていますんですが、情報が届いた方に参加していただいて、その人たち自身が居場所を持つこともそうなんですけれども、場がなくても誰かの場になれるような人、あの人に相談しようかなと思ってもらえるような人をたくさん増やしたいというのがありますので、参加された方たちがまた種まきの種のような形で、地域のより届きにくい方に直接声をかけたり、つながったり、じわじわ広がっていくような形を目指しております。

(細沼部会長) それでは、時間でございます。以上で終了となります。

「みんなの居場所・れいんぼ〜かふえ by レインボースマイル湘南」、藤沢市子育て企画課の皆様、ありがとうございました。

ヒアリングは終了しました。団体の皆様におかれましては大変お疲れさまでした。  
ここで事務局にお返しいたします。

(事務局) 細沼部会長ありがとうございました。

事務局よりご案内いたします。

採択結果につきましては、先ほどご説明したとおり、後日郵送にての通知となります。  
以上をもちまして、本日の公開ヒアリングは終了となります。

委員の皆様は休憩をとっていただきまして、この後、1時50分から、引き続き本会場で審査会を行いますので、よろしく願いいたします。

発表団体の皆様におかれましては、お疲れさまでございました。お忘れ物のないようお気をつけてお帰りください。この後、引き続きこちらの会場を使用いたしますので、大変申しわけございませんが、速やかなご退席にご協力をお願いいたします。

本日はありがとうございました。

(団体退出)

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

午後1時38分 休憩

午後1時47分 再開

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

## (2) 審査選考

(藤沢市情報公開条例第6条第3号に基づき非公開)

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

○協働コース審査選考部会において、協働コースの三次審査（ヒアリング審査）通過団体は、「みんなの居場所・れいんぼ～かふえ by レインボースマイル湘南／藤沢市子育て企画課」と決定された。



## 閉会

(山岡委員長) それでは、以上をもちまして第9回藤沢市市民活動推進委員会を閉会いたします。

本日は、長時間にわたりお疲れさまでした。

午後2時18分 閉会